

Chapter 2

バランスの取れた九州の交通インフラ

整備が進む高速交通体系

九州各県には、港湾、空港、高速道路がバランスよく整備されており、ソウル・上海のアジア市場や大阪・東京の国内市場への迅速なアクセスが可能です。

港湾については、北九州港、博多港の国際拠点港湾をはじめとして、各県に複数の重要港湾が整備されており、特に韓国・中国向けを中心としたアジア向け航路が充実しています。

中でも、九州ならではの物流サービスのひとつ、上海スーパーエクスプレス（SSE）は、約20ノット（時速約37km/h）で海上を航行し、博多港～上海間約900kmを約28時間で結ぶ国際高速RORO船です。水曜日と土曜日の週2便の定時シャトル運航で、安定したスケジュールを強みとしています。博多港～上海間のリードタイムは、RORO船3日、AIR（航空便）2日、コンテナ船8日と、コンテナ船よりも大幅に短縮され、航空便との差は1日と、ほぼ変わらないスピードを誇っています。輸送コストも航空便の10分の1から3分の1と、他の輸送手段と比較して高い費用対効果を有しています。

また、九州には各県に空港が整備され、8空港からはアジア各都市への定期便が運行されており、アジアへのアクセスの良さが九州の特徴といえます。

高速道路については、九州自動車道、長崎自動車道、大分自動車道、宮崎自動車道が整備されています。現在は、東九州自動車道、西九州自動車道、南九州西回り自動車道など、九州島を巡る環状の高規格道路や、九州横断自動車道延岡線が建設中となっています。

鉄道についてみると、2011年3月に九州新幹線が全線開業し、博多駅～鹿児島中央駅間が最速1時間19分で結ばれ、福岡、熊本、鹿児島の各都市間の往来

が活発になっています。

このように高速交通体系が着々と整備されつつあり、国内・海外からのアクセスの向上、域内移動の時間短縮が進むことで、企業活動の活発化、観光客の増大に寄与しています。

国際コンテナ定期航路

Regular International Container Routes

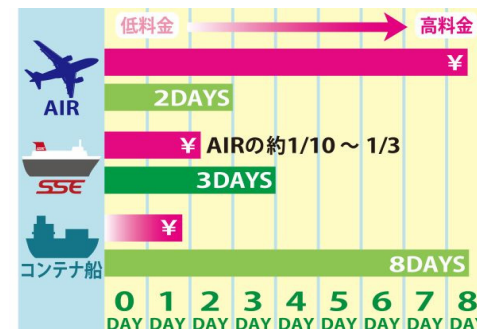
県名	港名	航路数	便数/月	主な航路（便数/月）
福岡	博多	34	194	韓国(84)、中国(56)、東南アジア(44)、北米西岸(6)、欧州(4)
	北九州	39	197	韓国(96)、中国(48)、香港(4)、東南アジア(40)、台湾(8)、ロシア(1)
佐賀	伊万里	5	20	韓国(4)、中国(16)
長崎	長崎	1	4	韓国(4)
熊本	熊本	1	4	韓国(4)
	八代	2	8	韓国(8)
大分	大分	4	16	韓国(12)、中国(4)
	細島	4	16	韓国(12)、台湾(4)
宮崎	油津	2	8	韓国(8)
	志布志	7	32	韓国(16)、中国(8)、台湾・香港(4)、台湾・フィリピン(4)
鹿児島	川内	2	8	韓国(8)

注) 1. 2012年8月現在（休止中、航路改編中は除く）

福岡市、北九州市、各県港湾課調べ

Note: Data as of August, 2012

上海スーパーエクスプレスの料金比較

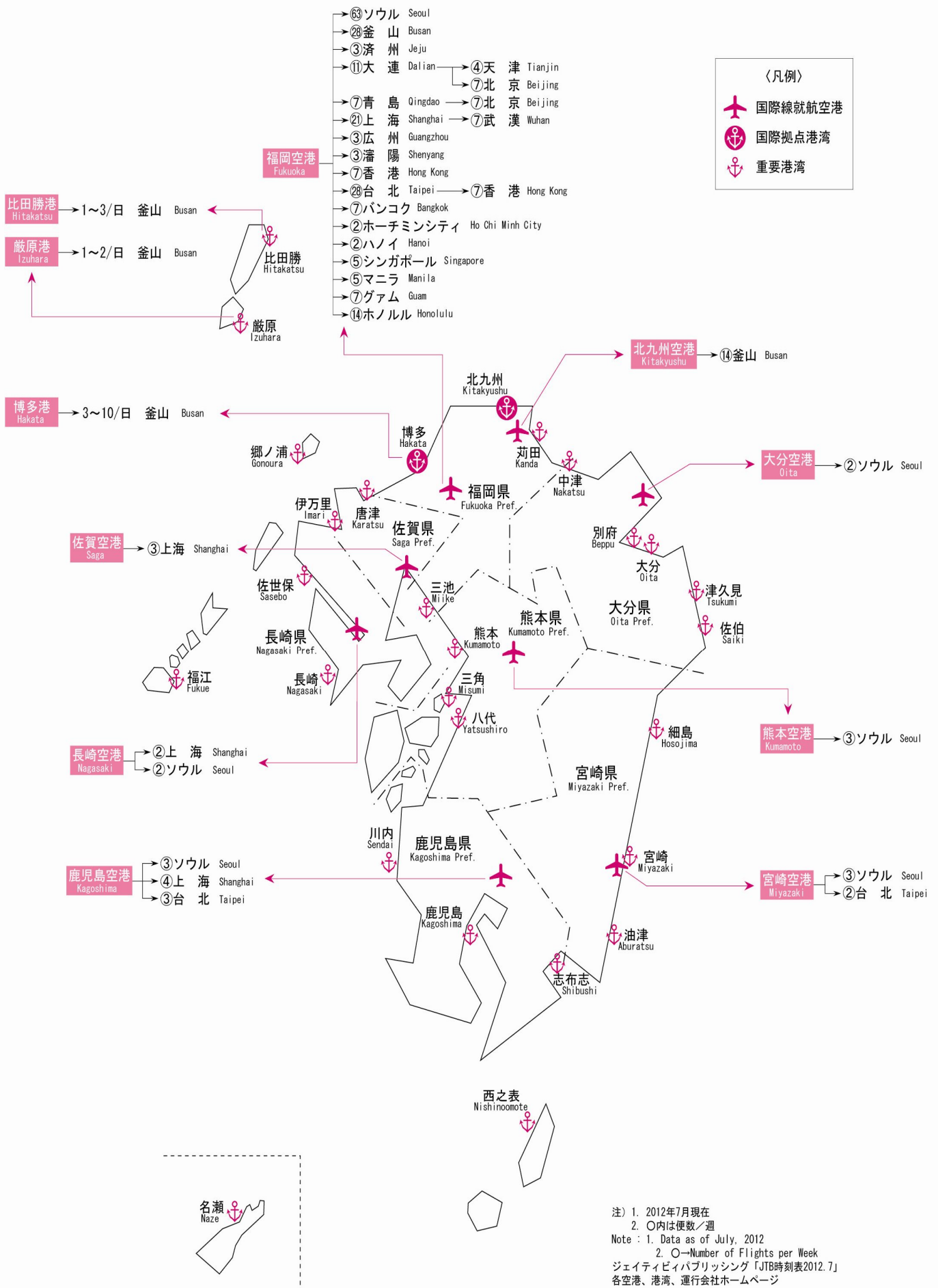


上海スーパーエクスプレスのリードタイム



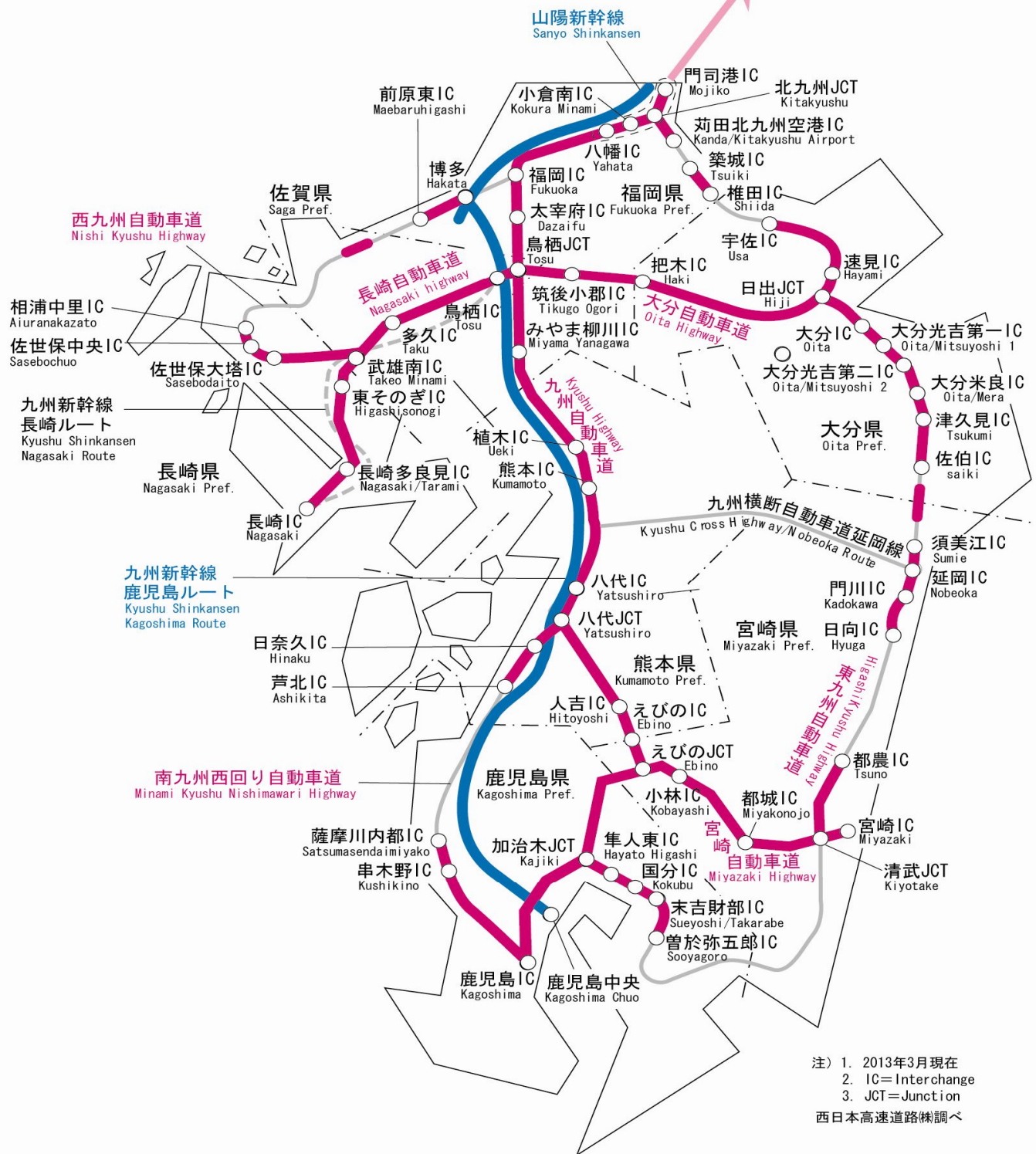
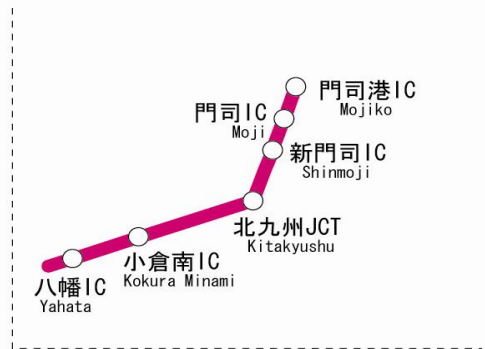
資料) 上海スーパーエクスプレス（SSE）ホームページより作成

主要空港・港湾・国際路線図



注) 1. 2012年7月現在
 2. ○内は便数/週
 Note : 1. Data as of July, 2012
 2. ○—Number of Flights per Week
 ジェイティビィパブリッシング「JTB時刻表2012.7」
 各空港、港湾、運行会社ホームページ

九州の高速交通体系



注) 1. 2013年3月現在
 2. IC=Interchange
 3. JCT=Junction
 西日本高速道路株式会社調べ